

イナと議会だより

県

第52回秋田県消防操法大会

主催／秋田県・秋田県消防協会 後援／日本消防協会・秋田県消防長会



2

決算特別委員会で審査

20

行政視察研修

小型ポンプ操法県内初の2連覇

美郷町消防団第2分団

定例会概要	2
決算内容	4
決算特別委員会審査	6
一般質問	12
請願・陳情・議案一覧	18
行政視察研修	20
各種研修会	24
キラリ美郷人	28



10月1日にオープンした歴史民俗資料館・佐々木毅記念室

初 決算特別委員会で審査



実質公債費比率7年連続で改善する

9月定例会を、9月8日から18日までの11日間の会期で開きました。審議した議案は平成26年度美郷町一般会計決算認定など24議案。その全てを原案通り認定・可決しました。また、一般質問は5議員が登壇して町政をただし、陳情3件を不採択としました。

今 定例会は、平成26年度一般・特別会計決算認定を中心に審査しました。決算については、今回初めて決算特別委員会を設置し、慎重に審議を行いました。（議員16人・議長及び議会選出監査委員除く）

町 の財政状況を示す指標はいずれも改善されており、財政健全化に向けた運営がなされていることが報告されました。その中で、実質公債費比率は8・8%となり、前年度より1・7ポイント改善されました。これは、前年度に引き続き任意で実施してきた繰り上げ償還が主なものです。

ま た経常収支費比率は86・7%で前年度より0・5ポイント悪化しました。これは、普通交付税の減少に伴うところが大きく、今後も財政健全化に向けた取り組みが求められます。

一般会計決算は、歳入121億9666万円、歳出117億4524万円で歳入歳出差引4億5142万円です。国民健康保険や下水道事業など5つの特別会計決算もすべてが黒字決算となりました。議会では、9月8日に決算の説明を受け9日に総括質疑を行ったうえで、14日特別委員会で審議し、18日採決を行いました。

※1 実質公債費比率…自治体の標準財政規模に対する借金の返済額を割合で表したもので、18%を超えると新規に借り入れする場合に国や県の許可が必要になります。

審 査の結果、一般会計と国民健康保険・簡易水道・下水道・農業集落排水特別会計を賛成多数（賛成15人・反対2人）で、後期高齢者医療特別会計は全員賛成で認定しました。

ま た定例会では、平成27年度一般会計補正予算に七滝土地改良区所有の「七滝の森」購入費2744万円、住宅リフォーム補助金40件の追加分320万円、マイナンバー制度導入のための電算保守委託料279万円、除雪機械修繕費3台分1975万円など、歳入・歳出それぞれに1億341

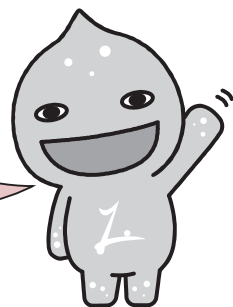
9万円を追加し、補正後の一般会計予算総額を109億4631万円としました。

そ のほかに、マイナンバー制度導入に伴う町の印鑑条例の一部改正、手数料条例の一部改正、教育委員会などが利用できる範囲を定める条例の制定や、美郷町歴史民俗資料館の完成を契機に「心豊かで活力ある歴史文化・芸術文化のまち宣言」などを採択し、陳情3件を不採択とし、閉会しました。

※2 経常収支費比率…町税・使用料などの毎年決まった収入に対して、人件費・扶助費など決まった支出が占める割合。高いほど財政に余裕がないことになります。

美郷町の決算を家計に例えると・・・

美郷町の平成 26 年度一般会計決算を
年収 500 万円の家計に例えてみたよ



歳 入

		平成 26 年度	平成 25 年度
給与	基本給 (町税)	585,000円 (11.69%)	592,000円 (11.84%)
	諸手当 (分担金・交付金)	37,500円 (0.75%)	34,500円 (0.69%)
パート収入 (使用料、手数料等)		64,000円 (1.28%)	63,500円 (1.27%)
親からの 仕送り	国庫・県支出金など	817,500円 (16.35%)	725,500円 (14.51%)
	地方交付税など	2,704,500円 (54.09%)	2,707,500円 (54.15%)
貯金の取り崩し (繰入金)		113,500円 (2.27%)	88,000円 (1.76%)
借金 (町債)		321,500円 (6.43%)	423,000円 (8.46%)
その他 (諸収入、返済金等)		356,500円 (7.14%)	366,000円 (7.32%)
合 計		5,000,000円 (100.00%)	5,000,000円 (100.00%)

※ 決算における実際の数字は、広報美郷 10 月号に掲載されています。



決算審査をする監査委員

宿泊交流施設の建設や公共施設
の耐震改修など、町の将来
像を見据えて多方面に施策を
展開しており、経営努力を評
価する。

(抜粋・要約)

がんばって借金を返してきたから、一年に返すぶんのお金は減っているね。
医療や福祉に使うお金の割合が増えているね。
建物もだんだん古くなって、維持費がかさんでいるね。



歳 出

	平成 26 年度	平成 25 年度
食費(人件費)	761,500円 (15.23%)	774,500円 (15.49%)
医療費(扶助費)	515,500円 (10.31%)	468,000円 (9.36%)
借金の返済(公債費)	713,500円 (14.27%)	810,500円 (16.21%)
光熱費等(物件費・補助費)	1,245,000円 (24.90%)	1,148,500円 (22.97%)
家の増改築・修理費 (普通建設事業費)	1,056,500円 (21.13%)	928,000円 (18.56%)
子どもたちへの仕送り (繰出金)	613,000円 (12.26%)	515,000円 (10.30%)
積立金	32,000円 (0.64%)	265,000円 (5.30%)
その他 (貸付金・災害復旧費等)	63,000円 (1.26%)	90,500円 (1.81%)
合 計	5,000,000円 (100.00%)	5,000,000円 (100.00%)

※ 歳出内訳は、総務省「地方財政状況調査」の結果をもとにしています。

監査意見

26 年度の財政状況の特徴としては、町債の繰上償還や経常的経費の削減を進めることで将来の負担軽減を図る一方で、国庫の特定財源を有効に活用することによって宿泊交流施設整備をはじめとする将来に向けた事業展開を行っていることが挙げられる。

実質公債費比率は 8・8 % (前年比マイナス 1・7 ポイント) となっており、改善傾向にある。経常収支比率は普通交付税の減少の影響によるところが大きく、前年度の 86・2 % から今年度は 86・7 % となっており、今後も財政健全化に向けた取り組みが求められる。

美郷町総合計画後期基本計画の最終年度となった平成 26 年度は、「美郷雪華ルームフレンチ」の販売開始、「アーク JAZZ フェスティバル in MISATO」の開催、

多岐にわたり 活発な議論

議会では今年度から決算特別委員会を設置し、付託された「平成26年度一般会計・特別会計決算」を9月14日に審査しました。その結果、一般会計、国民健康保険・簡易水道・下水道・農業集落排水特別会計はいずれも賛成多数（賛成13、反対2）で、後期高齢者医療特別会計は全会一致で可決すべきものとなりました。

一般会計決算

重複滞納者は

深澤（均）議員 町税及び公共料金等支払を重複して滞納している世帯数は、**税務課長** 重複している世帯は62件だ。

相談に応じている

泉（美）議員 滞納世帯で福祉的援助が必要となる場合の対応は。**税務課長** 税務課職員と諸収入を徴収する職員が合同で訪問し相談に応じている。

消費税引上げの収支は

泉（美）議員 消費税の増税に伴い町の収支はどうか。**企画財政課長** 増税による影響は、歳入では7000万円程度の増額、歳出では2億9600万円程度の負担である。

利用者の状況は

武藤議員 グラウンドゴルフ、パークゴルフ、マレットゴルフの利用者の状況は。**商工観光課長** 大台野グラ

今後の対応は

ウインドゴルフ場は700人の減少、雁の里パークゴルフ場は900人程増えている。

深沢（義）議員 高齢者住宅整備貸付金で収納率が32

%と悪いが、今後の対応は。**福祉保健課長** 訪問して支払いを促していく。

保証人との関係は

伊藤議員 奨学金で滞納があるが保証人との関係はどうなっているのか。**教育総務課長** 保証人に相談をしたり、場合によっては保証人から徴収をしている。



秋晴れの中でグラウンドゴルフ

選考委員会で決定

熊谷（隆）議員 奨学金貸付で滞納者は増えているのか。貸付認定の決め方は。**教育総務課長** 滞納者は増加している。貸付選考委員会で貸付を決めている。

小規模修繕の活用は

澁谷議員 小規模修繕契約登録者数と請負金額はいくらであったか。**総務課長** 登録者数24名、利用件数97件、請負金額約700万円である。

外部に委託

泉（美）議員 マイナンバー制度に対応する専門職員はいるのか。制度を導入するための費用は国から全額くるのか。**総務課長** 専門職員は、町ではない。システムについては外部に委託している。

企画財政課長

県内12町村で共同電算化をして取り組んでいる。国から全額は来っていない。

対象人数は937名

深澤（均）議員 小学生の医療扶助費の対象となる人数と額は。**福祉保健課長** 対象人数は937名で医療扶助費は579万3379円である。

元気アップ塾は

澁谷議員 体力作りとして美郷元気アップ塾を行い健康管理に努めるとのことだったが、利用状況は。

福祉保健課長 現在は「健康づくり講座」として実施している。一回の利用者は30人ぐらいで、50歳から60歳の人が参加している。

扶助費増加は

藤原議員 民生費や扶助費が毎年増加している要因は何か。**福祉保健課長** 障害者関係費と介護保険費の増加によるものだ。

会員は減少

細井議員 老人クラブの単位クラブへの補助金は一律の額か。また会員数の動向は。**福祉保健課長** 交付はクラブ一律31000円と会員一人7000円である。会員数は年々少なくなっている。

認定基準は

泉（美）議員 セルフケアの認定基準は。**福祉保健課長** 町のがん検診2つ以上を受けた方々を認定している。

モニタリングにかかる費用

深澤（均）議員 環境推進分析業務委託料が大きい理由と今後も継続されるのか。**住民生活課長** 六郷の一般廃棄物の最終処分場のモニタリングにかかる費用である。平成27年9月まで継続する。

強制代執行の基準は

森元議員 空き家は何軒あるか。また、解体強制代執行の基準は。**住民生活課長** 210軒ある。強制代執行の基準は町で指導後、建築士等の専門家を交えた委員会で決定し処理ができる。



体力づくりで健康増進

アマチュア無線の活用は

深澤（均）議員 町のアマチュア無線クラブの活用は。
住民生活課長 町内には免許所有者がたくさんいるが災害時には被災される可能性もあり、限られた範囲での活用となる。

防災訓練用の建物

泉（繁）議員 倒壊建物製作委託料とは何か。
住民生活課長 昨年実施した総合防災訓練の際、想定される倒壊建物を製作した費用だ。

防災タイムライン

泉（美）議員 豪雨時の災害対策で避難手順の行動計画を町では未策定だがいつやるのか。



アマチュア無線協定書

住民生活課長 防災タイムライン

には、国管理の河川がないので未だ作成していない。

果樹支援は

村田議員 果樹の枝折れに対する支援内容は。

農政課長

豪雪被害に対する支援で補植・改植、13経営体。樹体の補修、11経営体への補助だ。

高齢者就業支援は

泉（美）議員 高齢者就業機会確保事業費550万円の内訳は。

商工観光交流課長

シルバークン人財センター運営に係わる補助金である。

不用額が多い理由は

森元議員 道路維持費の不用額が多い理由は。

建設課長

3月の降雪量が少なかったことが主な要因だ。

経済効果は

泉（美）議員 住宅リフォーム事業の経済波及効果は。

建設課長

26年度約3億5千万円、過去3年間で約10億円の契約があった。

不審者事案が2件

泉（美）議員 安全、安心メールシステムの発信とその後への対応は。

教育次長兼教育推進課長

26年度不審者事案が2件あり発信した。警察へ通報した上で周囲の巡回、警備を行った。

国民健康保険特別会計決算

収納、滞納は

泉（美）議員 国保税の収納滞納状況は。
福祉保健課長 収納率は94・69%で滞納分の収納率は21・35%だ。

後期高齢者医療特別会計決算

納付形態は

熊谷（隆）議員 保険料の納付形態は。
福祉保健課長 年金からの天引き80・1%。口座振替3・16%。自主納付16・8%である。

26年度決算総括質疑

税収は減少しているが 財政は良好に推移

一般会計決算

村田議員 26年度決算からみた今後の税収と財政の見通しは。

税務課長 年金所得は給付人口の増加により若干伸びる。農業所得は予測しがた。固定資産税は、毎年評価額が下落する。総合的には、2%ぐらいの減が続くと思われる。

企画財政課長 町の財政健全化比率は毎年基準を下回っており、かなり良好に推移している。今後とも財政健全化に取り組んでいく。

厳格に対応する

村田議員 遠方に転居した未納税者への対応は。

税務課長

現在は、内容証明郵便等を活用して厳格に対応しており、今後検討する。



税務課窓口

9月9日、平成26年度一般会計・特別会計決算の総括質疑を行いました。その主な内容を要約しお伝えします。

監査のあり方は

熊谷（良）議員 補助金について、一部団体に補助金申請や実績報告に内容の精査を欠くものが見られるとあるが、団体の諸帳簿を直接監査することはあるか。

代表監査委員

地方自治法の199条第7項で監査委員は、補助団体等の監査が出来ることあり、法に基づき監査を実施している。

歴史文化・芸術文化のまち宣言

初日に同意した案件以外の議案について9月18日質疑・討論・採決しました。以下主な議案内容と質疑を要約してお伝えします。

心豊かで活力ある
歴史文化・芸術文化
のまち宣言

内容 町民が歴史文化・芸術文化を通じて心を耕す取り組みを推進し、心豊かで活力ある町を目指すための宣言です。

村田議員 歴史・芸術にかかわる催しの際の解説・説明についての対応は、

生涯学習課長 みさぼーとを中心に案内人のボランティア養成を進めるなど、来客していただいた方々への対応を整えたい。

国民健康保険特別会計決算

黒字決算の考えは

深沢（義）議員 歳入1億9千万円の法定外繰り入れを行っているが、3億を超える黒字決算であり、この様な大きな黒字決算となった場合の考え方についてうかがう。

町長 国民健康保険は、制度上、2月最終医療費の支払いが4月下旬にくるので専決処分できない。黒字決算の考え方は、当初予算で議決したものを6月に精査し、その状況によって黒字決算として取扱うか、法定外繰り入れを行うか判断していくことになる。



新しくなった保険証

一般会計決算認定

反対討論

泉（美）議員 消費税の増税にともなう町の町公共料金や学校給食の値上げが行われたことや、定員適正化計画にもとづく職員の削減、マイナンバー制度導入にかかわる予算執行があり、賛成できない。

賛成討論

深沢（義）議員 美郷雪華を活用しての物品の開発や宿泊交流施設の建設による交流促進への取り組みなど各般にわたるプロジェクト事業は将来につながるものであり、財政面においても実質公債費比率8・8%と健全な財政運営であると評価し賛成する。

国民健康保険特別会計決算認定

反対討論

泉（美）議員 2年連続の国保税の引き上げが行われ国保加入者の家計に大きく影響を与えている。農業所得の減少や、雇用状況の悪化など依然として厳しい経済状況の中、負担軽減を図るべきと考え反対する。

賛成討論

深沢（義）議員 国保会計は独立した会計として運営されており、その財政運営は最も重要な点である。そうした中で、26年度はこれまでにない一般会計からの繰り入れをし、加入者の負担軽減を図りながら3億1700万円余りの黒字決算となったことは後年度の安定した財政運営につながるものと評価し賛成する。

一般会計補正予算

小水力発電の内容は

熊谷（隆）議員 小水力発電の事業主体、設置場所、予算額は、

農政課長 県が事業主体で六郷東根の関田円形分水工下流に設置するもので3500万円の予算である。

コウモリ対策は

森元議員 学友館屋根裏へのコウモリ侵入対策は、

生涯学習課長 筒状のものを設置して侵入を防ぐことにした。

反対討論

泉（美）議員 マイナンバー制度にかかわる予算が含まれており、不安視されている中では賛成できない。

反対討論

泉（美）議員 不正利用や情報漏洩の危険性があり、反対する。



関田円形分水工

町の地方版総合戦略の策定は

町長「効果的・効率的に目標に近づける」



村田 薫 議員

議員 地方版総合戦略は、人口の推移等を踏まえ今後5年間の地域活性化方針を年度内に策定すると「地方創生先行型交付金」を活用し、事業が出来ることとされているが、次の点についてうかがう。

①美郷版総合戦略の柱立てとなる理念について

②この事業では、安定した雇用を創出する事業、地方への安定した人の流れをつくる事業、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる事業、時代にあった地域づくり、安心な暮らしを守るのと同時に、地域と地域を連携する事業、以上の4つの基本目標が設定されているが、これらの進捗状況と、重要業績評価指標であるKPIの設定内容をうか

がう。

町長 美郷版総合戦略の柱立てについては、「まち・ひと・しごと」創生総合戦略において国が定めた基本目標を基軸とし、効果的かつ効率的に目標に近づけることを理念としている。

個別の実績については、新規就農者のKPIを2人と定め現在新規就農者研修施設において2人が研修中なので達成できる見込みだ。

放課後児童クラブの利用者数については、90人と定め現在37人となっている。達成率は41%強である。

町あるきナビのダウンロードについては、件数500件と定め、現在ナビアプリ導入業者を選定作業中で年内に導入できるよう進め



美郷カレッジ(7月11日 永田萌氏)

ている。

中学校生英検3級以上の受験者を増やすことについては、対前年度比23ポイント増と定めているが、イングリッシュキャンプを12月に予定しているので、達成は今年度末となる。

各界のスペシャリストを

講師に招いて話をうかがう美郷カレッジについては、前期・後期あわせて7回の開催を予定し、参加者を200人と定め実施しているが、これまで前期3回分で191人の参加があり目標は達成できる見込みだ。

(注) KPIとは…目標の達成度合いを測る数値的な指標。

一般質問

5議員が

9項目を質す

ただ

質問者

村田 薫 議員

◇ 美郷町の地方版総合戦略策定の考えは

深澤 均 議員

◇ 人・農地プランについて

◇ 保育・学校施設の暑さ対策について

熊谷 隆一 議員

◇ 町有バスの更新計画について

泉 美和子 議員

◇ 子どもの医療費無料化拡充について

◇ 雪下ろし費用の助成を

◇ 平和問題について

藤原 政春 議員

◇ 美郷町サンサンデー設定について

◇ 町民所得アップについて

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

9月17日本会議において一般質問が行われ、5議員が9項目にわたって質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

町有バスの更新計画は

町長「早期に策定したい」



熊谷 隆一 議員

町長 町のバス保有状況は、合併前から引き続き所有している3台と、使用目的がスポーツ振興に限定した1台の計4台で、各種団体の要望に対応してきた。年式・走行距離はラベンダー号は平成3年登録で走行距離20万3千キロ、湧ちゃん号と雁の里号が平成

議員 町所有の各車両については、年次計画で更新されているようだが、町有バスについては、合併前の車両を運行し続けていることから、老朽化が進んでおりエアコンなどの故障もあり、運行に苦慮していると聞いている。これまでスクールバスの充実を優先してきたことは十分理解しているが、今後の町有バスの更新計画についてうかがう。

5年登録で19万2千キロ、19万5千キロ、スポーツ振興号が平成16年登録で10万8千キロとなっている。また、2台が冬期間スクールバスに利用されている状況だ。定期点検は実施しているが、経年による故障が発生している。更新計画については、合併前から引き継いだもので、町の規模等を考慮した計画的台数でないこと、冬期間は2台運行となっていること、また更新には1台数千万円必要なことなどを踏まえて、町としては利用実態や、利用内容の将来的な適否、そして維持管理的な経費など総合的に勘案しながら、レンタルなども含め検討し、出来るだけ早期に策定したいと考えている。



町有バス

人・農地プランの進捗状況は

町長「経営体数、集積面積ともに増加している」

議員 平成24年度にスタートした人・農地プランのこれまでの進捗状況をうかがう。また、農地中間管理機構について、農家の理解が進んでいないと思われるので、町で対策を考えられないか。

成以降14名が新規に就農しており、現在研修を受けている方もいる。今後も、出し手と受け手の均衡をはかりながら、地域の中心経営体や新規就農者の確保に努めていく。

農地中間管理機構については、設立目的に理解を深めてもらいながら、関連する事業について適切に認識していただくような広報活動等、強化していく。

町長 町では人・農地プランについて、刻々変化する地域の実状をふまえこれまで7回の見直しを行ってきた。平成27年8月末の人・農地プランによる今後の地域を中心とする経営体は186経営体、集積面積は1549ヘクタールで、その面積は町全体の農地の約25%を占める状況であり、経営体数で28経営体、経営面積で306ヘクタール増加しており、農地の集積が進んでいる。また、プラン作



進む圃場整備

こども園と学校にエアコン設置を

議員 子どもの健康管理や良質な学習環境の整備のためエアコンの設置を進める考えはないか。

教育長 こども園ではホール以外のすべての保育室にエアコンを設置する方向である。小・中学校では、パソコンルームや図書室等には設置しているが、普通教室には設置していない状況である。

今後のエアコンの設置について、こども園においては、千畑なかよし園の5歳児保育室に来年度設置し、すべての保育室に設置となるようにしたい。

たい。小中学校においては、暑さによつて体調不良となる児童・生徒がでない状況や学習に集中できないという状況が多く出されていないので、当面、普通教室への設置は考えず、現在の暑さ対策を継続していきたい。



深澤 均 議員

第3日曜日を美郷町サンサンデーに

町長「あきた家族ふれあいサンサンデー 認知度アップに努める」



藤原 政春 議員

町長 あきた家族ふれあいサンサンデーの認知度については低水準と認識しているが、その趣旨の浸透を図るため、幼児期家庭教育講座や就学児

議員 家庭は人間形成を育むやすらぎの場であると考えますが、昨今、家庭の教育力の低下がまねいたと思われる問題が多くあり、危惧している。秋田県では、昭和40年代から毎月第3日曜日に「家庭の日」があり、今は「あきた家族ふれあいサンサンデー」となっているが、いまひとつ浸透していない状況だ。そこで、町でも第3日曜日を家族のコミュニケーションの日と位置づけ、「美郷町サンサンデー」としてはどうか、町長の見解をうかがう。

子供健診子育て講座、親子アップ講演会などを開催して町と実績をふまえると、新たに美郷町サンサンデーを設けて周知し直すよりは、現在のあきた家族ふれあいサンサンデーがより認知されるよう活動を強化する方向で進めたい。



サンサンデーのポスター

町民所得向上についての考えは

議員 第2次美郷町総合計画のなかで、こだわりの生産環境の創出、起業支援の充実、地産地消・地産外販の推進とあるが、これによって人口減を抑制しながら町民の所得をアップし、自立できる町づくりができるのか、見解をうかがう。

町長 県が発表した推計結果によると、平成24年度の美郷

町一人当りの所得額は201万1千円で県内25市町村の中で17番目に位置している。税収は人口減もあり減っているが一人当りの所得額としては微増の傾向にある。今後さらに町民所得を向上させていくためには、基本的に事業者の独自努力の部分もあるが、生産販売額を伸ばしていく事が結果的に町民所得を伸ばす結果になると考えるので、こうした取り組みの機会・きっかけの創出および支援策を準備し、町民所得の向上につなげていきたい。

子どもの医療費無料化拡充を

町長「制度拡充に向けて議論を重ねている」

議員 政府の新型交付金、地方創生先行型を活用して、県内自治体でも独自助成で入院通院も中学卒業まで無料としているところもあるが、県でも来年度から医療費助成制度を中学卒業まで拡大し第三子出生の場合第二子から、保育料の全額助成を行うことにした。当町では、子どもの医療費無料化拡充について、地方創生の取り組みの中で精査することになったが、どのように検討されているのか。

においても少子化対策として福祉医療制度を「中学生まで拡充する案を策定している」と伺っている。県の制度との調整を図りながら

美郷版総合戦略の中で中学生まで制度拡充を実現するよう議論を積み重ねている。



診察状況

雪下ろし費用の助成について

議員 高齢者世帯にとっては、雪下ろしがどの世帯も大変になっており、雪下ろし費用に助成する考えはないか。

町長 昨今の異常気象に伴う被害状況は高齢化が確実に進展している現状を鑑みると具体の支援策をまとめる必要性が高まっている。改めて近隣自治体の制度内容、動向等も見定め、町として地方交付税の縮減の現実を踏まえながら、調査検討を重ね来年度からの事業

平和問題について

議員 安全保障関連法案について、町長の見解をうかがう。

町長 町の権限に属する行財政一般の範囲を越えた国策に関する事なので、答弁については差し控えさせていただきます。



泉 美和子 議員



【新任】
加藤 悦子氏
(金沢)

【教育委員会委員】
次の方の推薦を可決しまし
た。



【新任】
佐々木 竜孝氏
(土崎)

【固定資産評価審査委員会委員】
次の方の選任に同意しまし
た。



人事

第7回臨時会

町消防団の県大会出場に伴う経費等を追加

8月10日、第7回臨時会を開催し、専決処分の報告1件、承認1件、一般会計補正予算に係る議案1件の審議を行い、原案を全員賛成で可決しました。

補正予算の主な内容は、美郷町消防団の秋田県消防操法大会出場に伴う経費、豪雨により道路の一部が崩落した町道真屋岳線の測量調査及び復旧工事費、宿泊交流館ワークアスの防水改修工事費の追加などで、歳入・歳出それぞれに239万5千円を追加し、総額を108億1211万8千円としました。

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍右工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛	
◎平成27年第8回議会定例会																			
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

9月定例会 請願・陳情

不採択としました

◇「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出についての陳情

秋田県商工団体連合会 婦人部協議会会長 小玉智子

(採択2人 武藤議員・泉(美) 議員：不採択15人)

◇マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情

秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲

(採択2人 武藤議員・泉(美) 議員：不採択15人)

◇憲法に違反する安全保障関連法案を廃案とするよう関係機関への意見書提出を求める陳情

秋田県平和委員会 代表理事 川野辺英昭

(採択6人 澁谷議員・武藤議員・泉(美) 議員・細井議員・飛澤議員・森元議員：不採択11人)

第7回 議会臨時会提出議案一覧(8/10)

承認第4号 専決処分事項の承認を求めることについて (賛成15人、反対2人で原案承認)

議案第54号 平成27年度一般会計補正予算第4号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

第8回 議会定例会提出議案一覧(9/8~18)

認定第1号 平成26年度一般会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

認定第2号 平成26年度国民健康保険特別会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

認定第3号 平成26年度簡易水道事業特別会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

認定第4号 平成26年度下水道事業特別会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

認定第5号 平成26年度農業集落排水事業特別会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

認定第6号 平成26年度後期高齢者医療特別会計決算認定について (賛成15人、反対2人で原案認定)

同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (賛成15人、反対2人で原案可決)

同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第55号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第56号 行政不服審査会の事務の委託に関する協議について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第57号 過疎地域自立促進計画の一部変更について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第58号 心豊かで活力ある歴史文化・芸術文化のまち宣言について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第59号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第60号 個人情報保護条例の一部改正について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第61号 印鑑条例の一部改正について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第62号 手数料条例の一部改正について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第63号 清水とふれあいの里設置条例の一部改正について (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第64号 平成27年度一般会計補正予算第5号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第65号 平成27年度国民健康保険特別会計補正予算第2号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第66号 平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算第2号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第67号 平成27年度下水道事業特別会計補正予算第2号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第68号 平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算第2号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第69号 平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算第1号 (賛成15人、反対2人で原案可決)

議案第70号 工事請負契約の締結について (賛成15人、反対2人で原案可決)

【総務常任委員会】 7月6日(月)～8日(水)

人口減少に歯止めをかけた村

(長野県 下條村)

長野県南部に位置する下條村は、平成27年4月現在、人口3986人の小規模な山村であるが、人口減少に歯止めをかけることに成功した村です。独自に多種多様な行政施策の展開や徹底した経費の削減を行っており、主な定住促進と少子化対策として①村単独事業で若者専用住宅(10棟124戸)を建設。子供がいること、結婚を予定していること、消防団加入などが入居条件。②高校生までの医療費無料化③小学生

中学生の給食費50%補助など数々の施策を行っていました。自主財源の創出に関しては、村の正職員を大幅に削減をし、現在39名(保健師2名、保育士8名を含む)ということで、類似団体に比べると46%と驚くほどの削減をしていました。経費節減については、地域住民自らが行う道路、水路修繕などに対する資材の無料支給事業を行うなど、経費の削減に努めていました。

少子化対策に力を入れる一方で、しっかりと財政を管理しながら施策を進めていくことの大切さ、良い意味での「したたかさ」を感じずにはいられない自治体でした。

若手経営者で商店街活性化

(長野県 佐久市)

長野県佐久市の南に位置する、岩村田商店街は、古くから中山道の宿場町として栄えたところであったが、大型スーパーの撤退に伴い、客足も遠のき、空き店舗が目立ってきたところ、若手経営者が中心となり岩村田商店街振興組合の理事となりました。お客様のニーズに合わせて、惣菜屋など今まで



直売施設(手前)と若者専用住宅(奥)



岩村田商店街

【教育民生常任委員会】 7月1日(水)～3日(金)

「礼の心」を育む中学校

(福井県 永平寺町)

商店街になかったお店を直営で運営を行ったり、18歳未満の子どもを持つ家庭を対象に子育て村を作ったり数々のイベントを行ってきましたが、打ち上げ花火的なイベントでは、長続きしないと考え、多世代交流の学びの拠点「寺子屋塾」、買い物の子守施設「子育てお助け村」、高校生とのコラボショップ「青春食堂」開設や、「佐久つ子WAO Nカード」を作成したり、地域密着型商店街の構築を目指していました。

色々な補助事業を駆使して事業の展開を切れ目なくして来ていました。ここでも行政からは支援は頂くが口出しはさせないとの「したたかさ」を感じました。



授業前の黙想をする永平寺中学校の生徒

福井県永平寺町では、教育委員会から学校づくり方針の説明を受けた後、永平寺町中学校を視察しました。この中学校は、大本山永平寺での体験や道徳教育を基本にしながら学ぶ者として、人としての心のあり方や心構え等を当たり前のこととして実践している特色ある学校でした。

その姿勢が全国でトップレベルの学力向上に結びついていることが実感されました。

特に「礼の心」を育む活動としては、登下校時校門に立ち校舎に一礼。授業始めの黙想、無言での拭き掃除、無言給食等すべてが当たり前に行われているとのことでした。他に特色ある

事業としては、15歳まで子どもの医療費無料と学校給食無料化事業等、教育の充実に力を入れており、一般会計の歳出総額に教育費が占める割合は11・4%でした。文教の町と言われる我が町にとっても参考になることがたくさんありました。

湧水保全の取り組みについて

(福井県 大野市)

大野市は、豊かで良質な地下水に恵まれた城下町で、古くから市民の生活用水や工業用水など、さまざまな用途の水源として利用されてきました。

近年、地下水位の低下に伴う井戸枯れ、湧水の枯渇、あるいは水質汚染などの問題が発生してきており、これに対処するため地下水の監視や涵養に取り組んできました。

市民の地下水に対する意識が高く、清掃活動で清水を復活させ、イトヨの生息も可能にし、国の天然記念物に指定された「本願清水イトヨの里」が有名で、その整備活動事業に力を入れてきました。豊富な地下水も決して無限ではないこと、地下水は地域共有の貴重な資源であることを認識し「持続的な地下水の保全と利用の調和」を基本理念とし、地域全体で取り組んでいくとの説明を受けました。

美郷町でも水環境保全に力を入れて取り組んでおりますので、今後の事業展開に大いに参考になりました。



清水の中のイトヨを直接見られる観察窓

【産業建設常任委員会】 7月15日(水)～17日(金)

3県にわたり多様な農業を学ぶ

根菜類の一大生産地に学ぶ

(青森県 三沢市)

研修1日目、青森県おいらせ農業協同組合本店で特産品（ごぼう・にんにくなど）栽培の取り組みについて研修しました。

野菜の販売額70億円を目指して「やさしい推進委員会」を

組織し、野菜ごとの部会を設け栽培講習会や消費の宣伝などの活動を行っており、農家積み立てによる価格安定共助も実施していました。

主力作物を絞り込み、大規模な選別施設を備えて一大生産拠点とする経営形態は、本町の近隣では見ることがなくたいへん参考になりました。



にんじんの大規模選別施設

飼料用米の可能性

(青森県 八戸市)

八戸港には、飼料原料を搬入・保管するプラントを核に8社の飼料工場があり、今回は、青森県飼料用米利用協議会の構成員であり、飼料用米の活用に関与している日と産業株式会社を視察しました。月間2千トンの米を混合して飼料を生産しているが、国産飼料用米を大量に使用するには高い価格がネックになっていて、国の支援が

充実し、規制の緩和が進むのを期待するとの説明を聞き、今後の飼料用米の栽培の推進にあたって解決すべき問題を多く学ぶことができました。

「二集落一農場」の実現を目指して

(石手県 遠野市)

2日目は、集落全体をひとつの農場としてとらえ、地域づくりでも数々の表彰を受けている農事組合法人宮守川上流生産組合を視察しました。米作を中心に園芸作物も導入

希少品種で差別化

(宮城県 大崎市)

研修3日目は、トマトの希少品種「玉光デリシャス」の栽培と、加工場や農場併設の直売所、さらには農園カフェを経営するデリシヤスファーム株式会社を視察しました。「栽培がむずかしい希少品種を扱うことで、他者と競合することが少なく強い商売になり、ここでもしか買えない商品、ここでもしか味わえない料理を提供することで、ブランド力

を維持している。」と、同社今野社長は語ってくれました。高度な農業経営へ発展していく過程や、農場に人を呼び込む農業の形はたいへん参考になるものでした。



希少品種のトマト栽培

若者が議員になれる環境整備を



庁舎特別会議室

議会では、7月14日、議会のあり方・政策調査会を開催し、新潟県立大学・国際地域学部の田口一博准教授を講師に迎え、講演をいただきました。

講演の中で、町づくりは公聴会などを通して町民全体から広く意見を聞くことが必要であること、そのうえで議員は、計画・目標を立てて活動することが大切であると話されました。

議員定数については、何人いれば町のことがしつかりやつていけるのかを前提に決めるべきとの話をされました。

最後に、若い議員の誕生の環境作りとして、選挙費用の公費支出や子育て時期の手当支給など今後の課題として提起されました。

2市1町研修会（大仙市）

住民参加で議会改革を



大曲エンパイアホテル

7月21日、大仙市において大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会が行なわれ、情報交換を行い連携を深めました。

また、山梨学院大学法学部教授江藤俊昭氏から「議会改革の動向と議会・議員の役割」と題して講演をいただきました。

江藤氏は、地方議会の最近の動向について、詳しい例を交えながら話され、議会改革は住民自治の拡充を進める機会ととらえて、住民参加を促進しながら充分議論を重ねて行くことが大切であると結びました。

県南3力町村研修会（東成瀬村）

地域医療からまちづくりを学ぶ



東成瀬村防災情報センター

7月17日羽後町、東成瀬村、美郷町の県南3力町村の議会議員連絡協議会が東成瀬村防災情報センターで開かれました。

協議会では、JA秋田厚生連「雄勝中央病院」中村正明院長をお招きし「地域を守る地域医療」をテーマに講演をいただきました。一般的に、経営が悪化すると人員整理や病床削減が行われるが、それは都市型病院へ進む

ことであり地域医療が失われることである。当院は逆に、病床を増設しサービスを充実させた。一方では地域住民が署名運動を展開するなど後押しもあり経営を改善することができた事例をお聞きしました。官民一体となつての町づくりがいかに重要であるか学びました。

県町村議会議員研修会・広報研修会（秋田市）

分権改革を学ぶ



県町村会館

8月7日、県町村会館で町村議会議員研修会及び議会広報研修会が開催されました。

研修会では中央大学名誉教授 今村都南雄氏からの「地方創生に向けた町村議会の対応」の演題で講演いただき、分権改革の中の議会

改革への取組、道州制の問題点、地方創生の論議の成熟度を学びました。

続いて、政治ジャーナリスト 泉宏氏の「新安保法制、70年談話・・・正念場を迎えた1強安倍政権」という演題では、政治舞台の裏をジャーナリストの目でみた、政治のながれ、安倍首相の行動からみた今後の政局などを話されました。

議会広報研修会では議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に迎え「住民に読まれ、議会活動が伝わる」議会広報の基本と編集技術について詳しく教えて頂きました。

当町の「みさと議会だより」は、議事公開の水準、企画、編集レベルが高い議会報で、メリハリ、読者への配慮がある編集で大変読みやすいと、高い評価を受けました。

ご参加ください 第13回「住民と議会との懇談会」を開催

本会議の内容や議会活動の状況などを町民の皆さんに報告・説明し、議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。
多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

日 時	地 区	行政区	会 場	担当班
11月2日(月) 午後7時00分～ 午後8時30分	千畑地区	小荒川	下相野会館	1 班
		土崎南部	三井寺会館	2 班
		外川原	外川原会館	3 班
11月5日(木) 午後7時00分～ 午後8時30分	仙南地区	下千間谷地	下千間谷地会館	1 班
		南 町	南町会館	2 班
		茨 島	茨島会館	3 班
11月6日(金) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	東高方町	東高方町会館	1 班
		本 館	本館会館	2 班
		荒 川	沢目児童館	3 班

1 班	2 班	3 班
伊藤 福章 深澤 均 泉 美和子 飛澤龍右エ門 森元 淑雄 深沢 義一	鈴木 良勝 泉 繁夫 武藤 威 藤原 政春 杉澤 隆一 高橋 猛	澁谷 俊二 中村美智男 村田 薫 細井 邦男 熊谷 隆一 熊谷 良夫

みさと議会だより 第44号 クイズ 正解と当選者

★クイズ回答

- 【問1】 美郷雪華コレクションの純米酒の → **【正解】**
3銘柄は「〇み」「〇み」「〇み」 **雪・月・花**
- 【問2】 心肺蘇生法の手順を確認するには → **【正解】**
『すみません、誰か〇〇〇〇〇〇』 **来てください**
と音声検索

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。
深澤 了斗 様 後藤 章子 様
入江 キエ 様



平成27年7月16日、
全国豪雪地帯町村議会
議長会において任期
(2年)が満了したこ
に伴う役員改選が行わ
れ、当町議会議長 高
橋 猛氏が会長に就任
されました。

❖就任❖

総務常任委員会



高橋 猛 深澤 均 村田 薫
澁谷 俊二 森元 淑雄 泉 繁夫
(副委員長) (委員長)

教育民生常任委員会



飛澤龍右エ門 細井 邦男 中村美智男
藤原 政春 武藤 威 深沢 義一
(副委員長) (委員長)

議会広報常任委員会



藤原 政春 鈴木 良勝 森元 淑雄
細井 邦男 村田 薫 熊谷 良夫
(副委員長) (委員長)

産業建設常任委員会



泉 美和子 鈴木 良勝 熊谷 良夫
杉澤 隆一 熊谷 隆一 伊藤 福章
(副委員長) (委員長)

議会運営委員会



深沢 義一 泉 美和子 泉 繁夫
深澤 均 中村美智男 伊藤 福章
(副委員長) (委員長)

常任委員会、議会運営委員会の任期(2年)が10月2日で満了するため、9月18日の本会議で新しい委員会構成を決定しました。任期は平成29年9月30日までです。

委員会構成が
新しくなりました



第5回東北にがおえサミット（左から3人目）

シリーズ キラリ美郷人 vol.40 にがおえサミット 美郷で開催（10月25日）



石田 有美江さん（石神）

今回は、美郷町六郷の設計事務所にて昨年からの勤め、工業系の部品やアミューズ系の3Dデータを作る仕事をしている石田さんを訪ねました。

新しい仕事の勉強のかたわら、副業で似顔絵師としての活動もしており、各地のイベントに出店したりギフト用の似顔絵を描いています。

そのつながりで知り合った岩手で活動しているデザイナーから「似顔絵を通して東日本大震災の復興支援活動をしないか」と声をかけられたそうです。被災県である岩手は、「専門学校



問1 9月定例会では〇〇〇〇委員会を設置し、26年度決算について審査しました

問2 第13回住民と議会の懇談会は11月〇・〇・〇日に行われます

..... 〇に入る言葉や数字をお答えください

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成27年11月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

時代を過ごした第二のふるさと」です。二つ返事で了承したとのことでした。

昨年6月、東北各地の似顔絵師が結集し被災地のため、東北の笑顔のために活動する「東北にがおえサミット」を立ち上げ、収益の一部を募金すること、震災の記憶を風化させないために自分たちの活動を多くの人に知ってもらうことを基本に活動しており、仲間と共にお客様の笑顔のため東北各地に向かい出店のオフアワーが来るまでに

としたことでした。

そして石田さんの念願だった地元開催がいに実現します。10月25日の美郷フェスタで『第7回東北にがおえサミット』を開催する事が決まりました。

「皆様の笑顔のため、真心込めて似顔絵を描かせて頂きますので、東北の個性的な絵師たちには是非とも会いにいらしてください」と熱い思いを込めて、さわやかな笑顔で語ってくれました。（似顔絵色紙一人千円。収益の一部は日本赤十字社を通して東日本大震災被災地に寄付されます）

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。

◆キラリ美郷人

みさと議会だより 第45号